

# すこやかちゃん



**ひまり 陽菜里ちゃん**(平成21年10月9日生)  
 両親＝橋本賢吾・美穂さん〔三川〕  
 「おしゃべりが大好き！  
 早く歩いて公園に行きたいね♡」



**けいしん 佳心ちゃん**(平成20年6月4日生)  
 両親＝辻 佳紀・陽子さん〔口〕  
 「ピースの練習中です。  
 はやくできるようになるといいな。」



**こうき 輝季ちゃん・れいや 侗哉ちゃん**  
 (平成17年1月17日生・平成18年11月8日生)  
 両親＝近藤岳人・睦美さん〔八〕  
 「輝季はおっとりさんで侗哉はやんちゃさん！  
 見ての通りの写真です」

**\*すこやかちゃんを募集しています\***  
 掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。  
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。

薄緑がかかった柔らかい光がいたり消えたりしながら飛んでいくホタル。夏の風物詩の一つです。市内にはゲンジボタルとヘイケボタルの2種類のホタルが住んでいます。

ゲンジボタルは6月の初めごろに現れます。体の大きさは1・5〜2センチほどでヘイケボタルより大きく、明るく光ります。ニュースで取り上げられるのは、こちらのホタルです。市内では山すそのきれいな水の流れる小川のある地域で見られます。蛇園の還来寺付近は地元の人たちの努力により、ホタルの名所になっています。最も盛んに飛び回るのは、風が弱く暖かな暗い夜の午後8時から9時ごろです。

ホタルはオスもメスも光りますが、光りながら飛んでいるのはほとんどがオスで、飛びながらメスを探します。メスは草の葉にとまってオスを待っています。オスとメスでは光るリズムに違いがあり、互いに相手を見つける目印になります。



## ふるさとの自然 3 幻想的な光を放つホタル

幼虫はきれいな小川に住み、カワニナという小さな巻き貝を食べます。4月の初めごろに陸に上がってさなぎになります。さなぎも土の中で光っています。成虫になってからは水を飲むくらいで何も食べず、寿命は1〜2週間ほどです。

ヘイケボタルは大きさが1センチ弱で、田んぼに住んでいます。成虫になって光るのは7月下旬から8月上旬ごろです。幼虫はモノアラガイなどの小さな貝を食べます。冬の間も水があつて幼虫が生き残れるような、湿った田んぼの周りで見られます。水の汚れに強く、市内の広い地域で見られるので、家の近くで見られるなじみ深いホタルはヘイケボタルです。



(齊藤敏一)

## 暮らしのカレンダー

- 1日(火) 水道週間(〜7日(月))  
人権擁護委員の日
- 4日(金) 歯の衛生週間(〜10日(木))
- 6日(日) 旭市消防ポンプ操法大会  
(午前8時〜 ふれあい広場)
- 13日(日) 旭市いいおか港・水産まつり2010  
(午前9時〜 飯岡漁港)
- 15日(火) 県民の日
- 20日(日) 父の日

**編集後記**  
 今回の「ふるさとの自然」の内容は、ホタル。今年もその季節となりました。昨年、ホタルの写真を撮ろうと還来寺へ行くと、その日は蒸し暑く、風もない日だったため、多くのホタルを見ることができませんでした。ホタル同士が呼応するかのよう、斜面林や中空で柔らかな緑色の光を発光させていました。その幻想的な場面に、とても感動しました。しかし、肝心な写真は、うっかりホタルに見とれてしまったため(?)……。今年こそはリベンジしたいと思っています。(A)